

福島県立相馬支援学校 第3回学校公開

<第二次案内>

研究テーマ

「資質・能力を育む単元研究会からのカリキュラム・マネジメント」

～提案！！学習指導要領の着実な実施による“各教科等を合わせた指導”～

◆学校としてのシステム／単元構想／実践感覚／学習評価からの授業改善◆

時下、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では、関係諸機関の御理解と御協力により、第3回学校公開を開催することとなりました。

つきましては、多くの皆様の御参加を賜りますよう、御案内を申し上げます。

1 日 時 令和4年12月9日（金） 9時00分～16時30分

2 場 所 福島県立相馬支援学校（南相馬市鹿島区寺内字鷺内79）

3 共 催 福島県特別支援教育振興会相双支部

4 研究協力 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
「知的障害教育における授業づくりと学習評価に関する研究」研究協力校

5 参加方法 ①来校して参加 ②講演会のみ（オンライン配信を視聴）

6 日 程

8:50	9:00	25	35	10:25	11:20	30	12:10	13:00	14:15	20	55	15:05	16:15	16:30
受付	①開会式	移動	②授業公開Ⅰ（指定）	③授業公開Ⅱ（全体）	休憩	④研究報告	昼食	⑤話題提供 *参加者巡回型	休憩	⑥指定授業 単元研究（パネル型）	休憩	⑦講演会 *オンライン 配信対象	⑧閉会式	

*オンライン配信については、Google meet を使用する予定です。詳細につきましては対象者にメールにてお知らせします。

7 参加申込み

Google フォームにてお願いします。右のQRコード、もしくは本校のホームページにあるQRコードからお申込みください。

申込み締切は、令和4年11月24日（木）とします。



【お申込み QR コード】

【公開内容】

◆ 研究報告

福島県立相馬支援学校では、令和2年度から「資質・能力を育むための単元研究会からのカリキュラム・マネジメントの充実」の研究テーマの基に実践を積み重ねてきました。単元のまとまりに着目し、各教科等の資質・能力の明確化、単元構想、学習評価等の多くの実践を積み重ねる中で、教育課程上の問題点や改善点に気付き、カリキュラムを整え、より教育活動の質が向上できるようにマネジメントしてきました。この3年間の開発、改善、定着化してきた以下の具体的な取組と成果等を報告します。

【日々の授業に関わる開発】

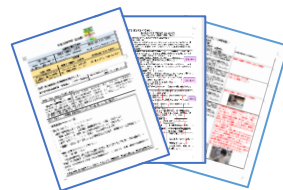
- ・単元に必要な要素を全てかつシンプルに押さえ、実践力がつき・カリマネにつながる単元案
- ・学習評価の力が身に付き、単元のまとまりを研究するための単元研究会

【教育課程に関わる整備・開発】

- ・12年間を見通した各教科等の年間指導計画
- ・教科等横断的な視点に立った資質・能力の明確化
- ・教科等の関連を図り、教育活動の質を向上させるための単元配列表
- ・各教科等を合わせた指導における“必要に応じて効果的に組み合わせる”考え方と実践

【授業を考えるための時間確保及び個々人の教師力の向上】

- ・単元案の蓄積及び単元配列表の単元名をクリックすることで単元案がすぐに使える業務短縮
- ・指導に役立つ環境整備、教師一人一人の学びを支える教師寺子屋等



◆ 授業公開Ⅰ

小学部 生活単元学習 「つくってあそぼう」

授業者：相原聖美 教諭

中学部 生活単元学習 「家族とわたし～命の大切さ～」

授業者：藤田泰人 教諭

高等部 作業学習 「販売会に向けて準備をしよう」

授業者：室井郷司 教諭

各教科等を合わせた指導においても、指導する各教科等の資質・能力を明確にし、評価基準に基づいて学習評価をし、授業改善を図ってきた。各授業者が、本時に効果的に学ぶことができる教科等の資質・能力を明確にし、1単位時間の中で“どのように授業者が働きかけ”、“子どもたちがどのように学んでいるのか”、ぜひ、子どもたちの学びの姿をご覧ください。



◆ 授業公開Ⅱ 校内公開授業

学校全体の授業を公開します。授業一覧・単元案等をもとに日々の取組をご覧ください。

*授業によっては、廊下からの中継映像を見ていただく場合もあります。



◆ 話題提供 ＊参加者巡回型

下記の話題提供について、本校の取組について説明しながら、参加者の皆さんと情報交換・意見交換できる機会を設定します（参加者の人数を見て、こちらで巡回グループを作ります）。

【話題提供1】「各教科等を合わせた指導の単元構想と実践感覚、学習評価！」

【発表者・濱尾康史教諭、富村和哉教諭】

*各教科等を合わせた指導において、どのように単元構想を図るのか、各教科等を指導する際の授業者感覚や指導の工夫、学習評価について紹介します。

【話題提供2】「一人一台端末に向けた取組～ICT活用目的の整理と実践例～」



【発表者・大関克也教諭・安島孔史郎教諭】

＊ICT活用目的の整理をすることで授業実践の中でより明確にすることで、授業の充実につながることや実際の授業での“思考を広げる対話的な学び”の実践例について紹介します。

【話題提供3】「働き方改革は、業務改革だ！～連動するシステムを体感～」

【発表者・根本麻美教諭・岡千愛教諭・黒澤圭太教諭】

＊単元配列表をクリックすると単元案や実践された単元案が出てくる等のシステムを実際に体験できます。また、これまでの業務削減や連動する各種書類等の取組を紹介します。

◆ 指定授業・単元研究：指定授業によるパネル形式での実践紹介

小学部、中学部、高等部の指定授業について、本時の授業だけでなく、日々の単元構想の仕方、授業実践や学習評価の工夫等をどのようにしているのか、パネル形式で発表し、自由に学び合います。

今年度、国立特別支援教育総合研究所と協働して「知的障害教育における授業づくりと学習評価に関する研究」に取り組んでいます。最後は全体で、単元構想や各教科等を合わせた指導の学習評価等に指導助言をいただきます。

【指導助言者】 国立特別支援教育総合研究所 情報支援部 上席総括研究員 横倉 久 氏
研修事業部 主任研究員 嶋野 隆文 氏

◆ 講演会

テーマ「学習指導要領の着実な実施とは～シン・カリキュラムマネジメント」

講師：兵庫県青少年本部 兵庫県立山の学校長 田中 裕一 氏



【講師プロフィール】

企業の社会人野球チームに所属した後、兵庫県内の知的障害者施設、県立特別支援学校（知的障害）に勤務。2014年から文部科学省に勤務。文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官を歴任後、2020年、兵庫県教育委員会に戻り、特別支援教育課副課長。2022年より現職。

文部科学省から令和3年3月「学習指導要領の趣旨の実現に向けた 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する 参考資料」の中で、『今後の教育課程の在り方 について、学習指導要領において示された資質・能力の育成を着実に進めることが重要であり、～中略～多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実が図られることが求められるとされています。また、その際にはカリキュラム・マネジメントの取組を一層進めることが重要とされています。』と示されています。

今、改めて何をカリキュラムし、何をマネジメントするのか、その意味を確認し、学習指導要領の着実な実施に向けて具体的なポイントについて、御講演をいただきます。

参加申込み方法・その他

1 参加申込みについて

(1) 申し込み方法

学校公開に参加を希望する方は、Google フォームでお申し込みください。

① 申込み締切日 令和4年11月24日(木)

② 本校ホームページ掲載の Google フォームからお申し込みできます。

(2) 参加決定について

お申込みされた方には、「自動送信メール(回答のコピー)」が届き、申込完了となります。

【お申込み QR コード】

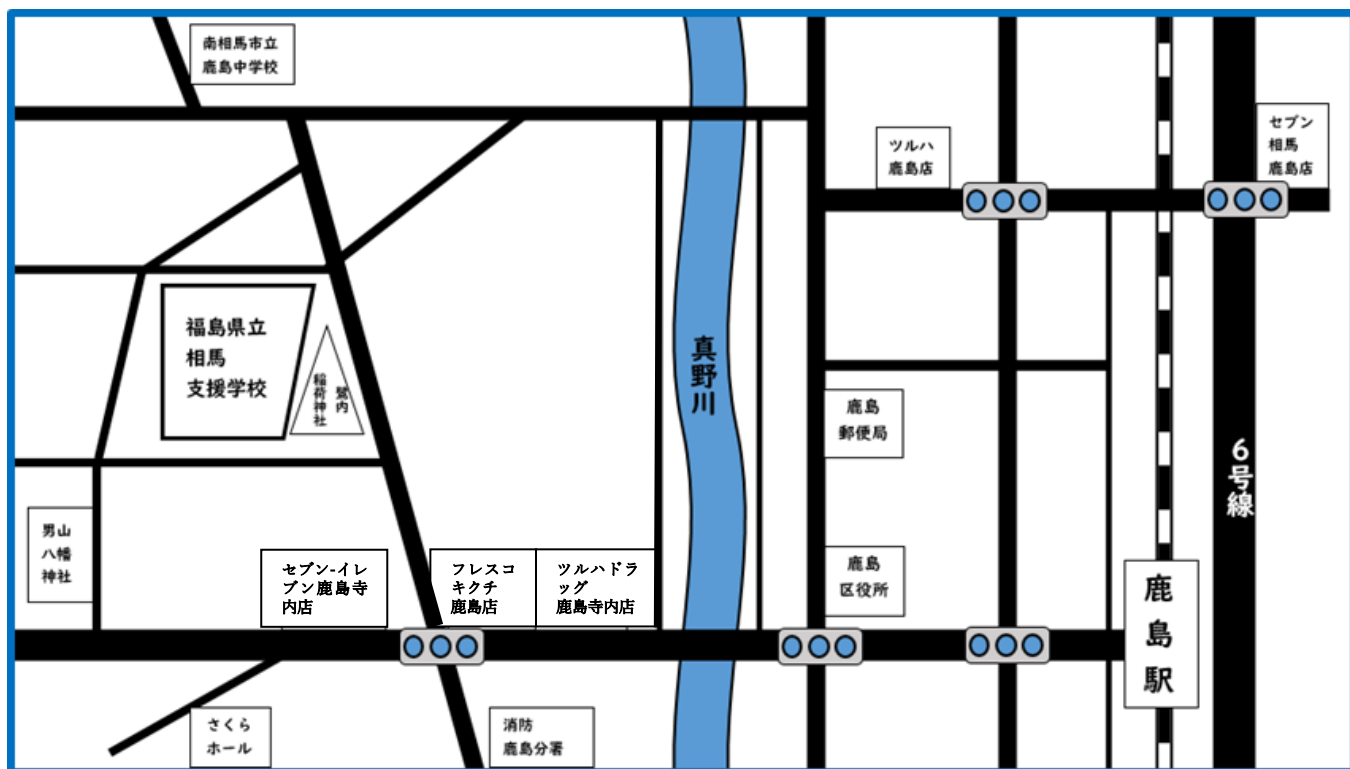


2 会場までのアクセスについて

【学校へのアクセス】

(鉄道でお越しの方) JR 常磐線鹿島駅より西へ約1km、迎田交差点を右折約300m

(お車でお越しの方) 国道6号線鹿島北田交差点から約5分



3 その他

(1) 当日、来校して参加の方は、別紙「健康チェック表」にご記入の上、受付に提出してください。＊本校ホームページからダウンロードすることができます。

(2) 昼食の準備は参加者各自でお願いします。

【お問い合わせ先】 福島県立相馬支援学校 TEL 0244-67-1515

担当：研修主任 富村和哉 デジタル推進担当 関本つぐみ 山本祐一